

ひまわり通信

日本共産党
 市川市議員 **ひろた徳子**

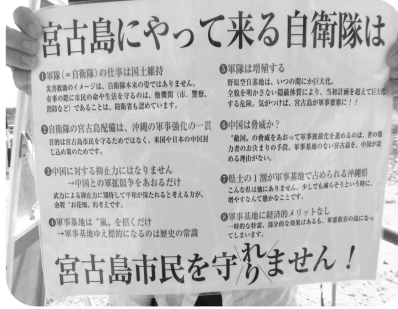


2019. 11. 10 NO.54



沖縄・宮古島に弾薬庫建設は許さない

4年前、宮古島に自衛隊の配備計画が打ち出されました。牧場とゴルフ場を潰し、800名の部隊の訓練場や宿舎を作ることを知り、訪ねました。宮古島の市議に連絡を取り、壊される予定地やマンガ畑など案内してもらいました。この時すでに200名の自衛隊は配備されていました。



宮古島は、陸と海の間に調和がとれた、生活用水のすべてを地下水に依存している美しいサンゴの島

で、住民がそれを守り続けてきました。地下水を汚染することや、島を破壊するいかなる建設にも反対をすると島の人々は言います。

今年、何度となく宮古島のことが、「赤旗」に掲載されるようになり、「10月から、ミサイル基地・弾薬庫建設に着手」と報じられました。

安倍政権が配備・建設を強行する上野野原(うえののぼる)に陸上自衛隊ミサイル基地と、保良(ぼら)という地域に弾薬庫を作るというもので、反対する市民団体は集会を開き、国や県の説明を求めました。しかし、私が宮古島を訪れた翌日、10月7日早朝、工事用の機材を積んだトラックが2台、工事予定地に強行に入ろうとしました。私も住民の方々と共にトラックの前に立ち、「民家から200メートルも離れていないところに、いつ爆発するかわからない弾薬を置くことは許さない」と訴えました。

誰にでもわかりやすいユニバーサルデザインの導入を

ユニバーサルデザインとは「特殊な設計や調整をすることなく、できる限り多くの人が利用できるように製品やサービス・生活環境をデザインする」という考え方です。例えば「シャンプーの容器。リンスの容器と間違わないように容器の側面に突起が付いているため、目の不自由な人やシャンプー中に目が開けられない人でも簡単に区別が付くデザインとなっています。左の写真は今回視察に行った大阪守口市のさつき学園のものです。このように年齢や障がいの有無、言葉の壁を越えて誰にでもわかるようなデザインされています。残念なことには市川市ではこのような取り組みがすべての学校で行われているわけではありません。新庁舎や全ての学校にもユニバーサルデザインを取り入れてもらいたいと思います。



映画「あの日のオルガン」市川市マニフェスト
 保身関係者へ平和を願う会

あの日
 の
 オルガン

11月22日(金)
 ①10:00~
 ②12:45~
 ③15:30~
 ④18:30~

市川市八幡市民会館
 あなたにぜひ
 見ていただきたい

10月16日

市政アンケートに寄せられた要望を市に提出しました



市政アンケートの要望を現地調査し、写真に撮るなど、地域の方と一つ一つまわりながら要望書を作成しました。毎年要望してもなかなか実現しないものもありますが、歩道の改修は年々進み、段差の解消などされています。使われていない自転車の放置や防犯対策など、みなさんが気付かれたことを市に直接伝えることができます。右の写真（小宮山第2公園付近）は横断歩道をつけてほしいとの要望で準備が進んでいる様子です。

日本唯一、燃やさないごみ処理（香川県三豊市）と香川県社会福祉協議会を視察しました



10月28日から29日、香川県の三豊市にある（株）エコマスターを訪ねました。下の写真は、通常では、破砕し、微生物を混ぜ、17日間置いておくことで、約70度の熱が発生し、生ごみは粉々になり、ビニールや紙はパリパリの状態になります。粉々になった生ごみには微生物が含まれており、再利用。紙やビニールは圧縮して固形燃料になります。ごみの半分は水分で17日のうちに蒸発します。市川市では焼却炉の建て替えが迫っています。環境にやさしい方法も視野に入れて検討するよう求めます。上の写真は香川県社会福祉協議会で子どもネットワークについて説明を聞いているところです。



10月27日、行徳まつり。15回目を迎え、多くの人でにぎわいました。



10月15日、後援会の横田基地と昭和記念公園のバスツアーに参加。台風にも負けなかったコスモスがきれいに咲いていました。（写真は行徳地域から参加したみなさん）

ひとりごと…そろそろ今年もわずかになり、年賀状を考える季節になりました。「傘寿になったことをきっかけに年賀状を今回より失礼させていただきます」とあった50年近くお付き合いさせていた小学校的の恩師からの手紙に、何とも言えない気持ちになりました。いつも感動して読まれていたという素敵な詩集が2冊同封されていました。3年生の時の担任の先生で、とても字がきれいで温かく、お母さんのような方です。お礼の返事を書かなくては、と思いきながら寂しさを隠しきれずまだペンを取れずにいます。年を重ねるとこんなことも多くなるかと思えます。日々の出来事に感謝しながら年を重ねたいと思いました。